令　和　３　年　度

衣浦東部広域連合決算審査意見書

一　般　会　計

衣浦東部広域連合監査委員

４衣広監第８号

令和４年７月２７日

衣浦東部広域連合長　林　　郁　夫　　様

衣浦東部広域連合監査委員　　加　藤　清　美

衣浦東部広域連合監査委員　　中　島　清　志

令和３年度衣浦東部広域連合一般会計決算審査意見について

地方自治法第２９２条の規定により準用する同法第２３３条第２項の規定に基づき、審査に付された令和３年度衣浦東部広域連合一般会計の歳入歳出決算及び関係書類並びに財産に関する調書を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

目　　次

令和３年度衣浦東部広域連合一般会計決算審査意見
第１　審査の対象 ･････････････････････････････････････ １
第２　審査の期間 ･････････････････････････････････････ １
第３　審査の方法 ･････････････････････････････････････ １
第４　審査の結果 ･････････････････････････････････････ １
第５　審査の概要 ･････････････････････････････････････ ２
１　決算の概況 ･････････････････････････････････････ ２
２　歳入 ･･･ ２
３　歳出 ･･･ ４
４　広域連合債 ･････････････････････････････････････ ５
むすび ･･･ ６

注記

１　比率（%）は、少数点以下第２位を四捨五入した。

２　構成比率（%）は、合計が 100.0 となるよう一部調整した。

３　文中及び各表中の符号の用法は、次のとおりである。
(1)「△」･･･････負数
(2)「0.0」･･････算出により零となるもの又は該当数値はあるが単位未満のもの
(3)「－」･･･････算出不能なもの又は該当数値がないもの
(4)「皆増」･････前年度に数値がなく全額増加したもの
(5)「皆減」･････本年度に数値がなく全額減少したもの

令和３年度衣浦東部広域連合一般会計決算審査意見

第１　審査の対象

令和３年度衣浦東部広域連合一般会計歳入歳出決算

令和３年度財産に関する調書

第２　審査の期間

令和４年７月１日から令和４年７月２７日まで

第３　審査の方法

審査にあたっては、広域連合長から提出された一般会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、関係諸帳簿、証書類等と照合し、その計数及び調製様式は正確か、予算執行は適正かつ効率的に行われているかという点に留意して審査した。

なお、審査にあたっては、関係職員の説明を聴取し、併せて既に実施した例月出納検査及び定例監査の結果も参考とした。

第４　審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿及び証書類と照合したところ正確であり、予算の執行は適正であると認められた。

第５　審査の概要

１　決算の概況

(単位：円、%)

区分	３年度	２年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
予算現額	5,979,870,000	5,619,812,000	360,058,000	6.4
歳入決算額	5,987,248,588	5,622,407,819	364,840,769	6.5
歳出決算額	5,782,325,740	5,364,811,794	417,513,946	7.8
歳入歳出差引額	204,922,848	257,596,025	△52,673,177	△20.4
翌年度へ繰り越すべき財源	12,250,000	2,000,000	10,250,000	512.5
実質収支	192,672,848	255,596,025	△62,923,177	△24.6

決算額は、歳入が 5,987,248,588 円、歳出が 5,782,325,740 円となり、歳入歳出差引額 204,922,848 円を翌年度へ繰り越している。

２　歳入

(単位：円、%)

区分		３年度	２年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
予算現額		5,979,870,000	5,619,812,000	360,058,000	6.4
調定額		5,987,248,588	5,622,407,819	364,840,769	6.5
収入済額		5,987,248,588	5,622,407,819	364,840,769	6.5
不納欠損額		0	0	0	―
収入未済額		0	0	0	―
収入率	対予算現額	100.1%	100.1		
	対調定額	100.0%	100.0		

収入済額は、5,987,248,588 円であり、前年度と比較して 364,840,769 円(6.5%)増加している。予算現額に対し 100.1%の収入率である。

収入の主なものは、関係市からの消防分担金 5,161,530,975 円(共通経費 4,879,746,140 円、単独経費 281,784,835 円)である。

歳入決算額を款別に前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分 款別	３年度		２年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	5,161,530,975	86.2	5,355,455,996	95.3	△193,925,021	△3.6
2 使用料及び手数料	20,479,500	0.4	21,077,750	0.4	△598,250	△2.8
3 国庫支出金	97,821,331	1.6	72,529,000	1.3	25,292,331	34.9
4 県支出金	60,000	0.0	47,000	0.0	13,000	27.7
5 財産収入	7,070,118	0.1	7,609,538	0.1	△539,420	△7.1
6 寄附金	0	0.0	0	0.0	0	－
7 繰越金	257,596,025	4.3	148,374,004	2.6	109,222,021	73.6
8 諸収入	18,990,639	0.3	17,314,531	0.3	1,676,108	9.7
9 連合債	423,700,000	7.1	－	－	423,700,000	皆増
歳入合計	5,987,248,588	100.0	5,622,407,819	100.0	364,840,769	6.5

各款の歳入決算額で、前年度と比較して増加額の大きい項目は、連合債 423,700,000 円である。減少額の大きい項目は、分担金及び負担金 193,925,021 円である。

3　歳出

(単位：円、%)

区分	3年度	2年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
予算現額	5,979,870,000	5,619,812,000	360,058,000	6.4
支出済額	5,782,325,740	5,364,811,794	417,513,946	7.8
翌年度繰越額	12,250,000	2,000,000	10,250,000	512.5
不用額	185,294,260	253,000,206	△67,705,946	△26.8
執行率	96.7	95.5		

支出済額は、5,782,325,740円であり、前年度と比較して417,513,946円(7.8%)増加している。予算現額に対し96.7%の執行率である。

支出の主なものは、消防費の職員人件費事業3,944,721,442円、高機能消防指令センター総合整備事業637,230,000円、水槽付消防ポンプ車の更新など車両等購入事業247,679,202円、各市消防団運営受託事業122,980,619円及び総務費の職員人件費事業108,737,370円である。

翌年度繰越額は、安城市の貯水槽整備事業12,250,000円である。

不用額は185,294,260円であり、前年度と比較して67,705,946円(26.8%)減少している。その主なものは、各市消防団運営受託事業55,006,381円、消防費の職員人件費事業41,676,558円及び各市消火栓設置等工事負担事業12,092,900円である。

歳出決算額を款別に前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分 / 款別	3年度		2年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	2,225,045	0.0	2,096,697	0.0	128,348	6.1
2 総務費	199,637,575	3.5	197,702,808	3.7	1,934,767	1.0
3 消防費	5,575,643,298	96.4	4,960,197,369	92.5	615,445,929	12.4
4 公債費	4,819,822	0.1	204,814,920	3.8	△199,995,098	△97.6
5 予備費	0	0.0	0	0.0	0	―
歳出合計	5,782,325,740	100.0	5,364,811,794	100.0	417,513,946	7.8

各款の歳出決算額で、前年度と比較して増加している項目は消防費615,445,929円である。減少額の大きい項目は、公債費199,995,098円である。

4　広域連合債

(単位：円)

区　　分	２年度末残高	３年度起債額	３年度償還元金	３年度末残高
広域連合分	0	423,700,000	0	423,700,000
碧南市分	0	0	0	0
刈谷市分	6,320,000	0	3,140,000	3,180,000
安城市分	3,024,000	0	1,508,000	1,516,000
知立市分	0	0	0	0
高浜市分	0	0	0	0
合　　計	9,344,000	423,700,000	4,648,000	428,396,000

広域連合債は、423,700,000円の新規起債と約定どおりの償還を行った結果、未償還残高は428,396,000円となり、前年度と比較して419,052,000円(4,484.7%)増加した。

む　す　び

以上が令和３年度衣浦東部広域連合一般会計歳入歳出決算審査の概要であり、以下のとおり審査意見を述べる。

一般会計の決算額は、歳入 5,987,248,588 円、歳出 5,782,325,740 円であり、前年度と比較して、歳入は 364,840,769 円(6.5%)、歳出は 417,513,946 円(7.8%)それぞれ増加となった。この結果、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は 192,672,848 円となった。引き続き、構成市との連携のもと適切な事業運営に努められたい。

当年度も、火災、救急、救助、自然災害の対応など広範囲にわたり、緊急度・優先度の高い施策に重点を置き、多くの事業が実施された。

消防力の充実のため、消防指令システムなどの設備の更新や消防車両の整備が計画的に行われている。また、救命率の向上のため、救急救命士などの育成強化や資機材の更新のほか、新型コロナウイルス感染症患者を搬送するための環境整備も継続して行われた。圏域住民には、防火防災意識を高める普及啓発活動を行っており、消防団など地域の消防組織との連携も図られている。

これらは住民の安心、安全の確保、消防力強化につながるものと認められる。

大規模な地震や豪雨など自然災害への更なる対応力の強化を進めることに加え、今後は、消防署庁舎などの老朽化の進行が見込まれており、新たに策定された「公共施設等総合管理計画」に基づき、施設の長寿命化や機能の充実に取り組まれることを求める。

広域を管轄する消防ならではの組織力を活かした活動を引き続き行うとともに、より一層の地域防災力の強化と広域的な応援協力体制を基に消防力が強化されることを期待し、本審査のむすびとする。